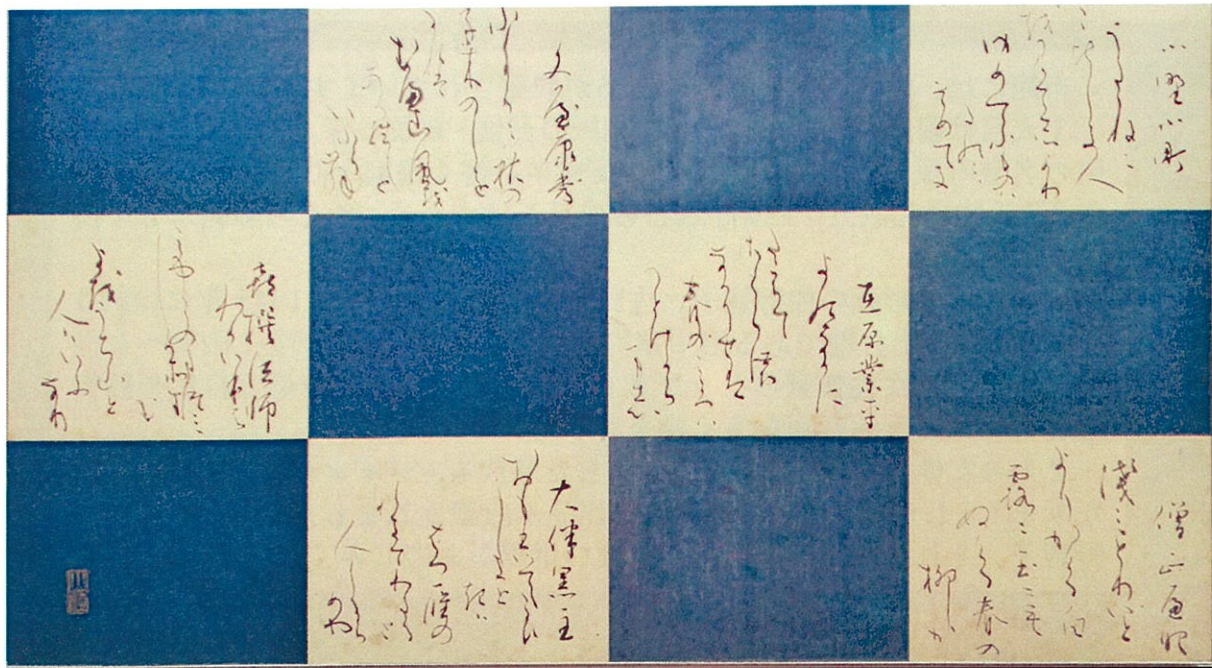


二人の女性作家 鈴木小江と佐野智子



6月6日(土)～
9月22日(火・祝)

●主 催 / 身延町 身延町なかとみ現代工芸美術館

◆観 覧 料 / 一般 500円 (450円) 大・高校生 300円 (270円)
小・中学生 100円 (90円) () は20名以上の団体料金

◆開館時間 / 午前9時30分～午後5時 (入館は午後4時30分)

◆休 館 日 / 毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は翌日)

※本展覧会は、新型コロナウイルス感染症の状況により、会期を変更する場合があります。

その際は和紙の里HPや美術館Twitterなどで随時お知らせします。

○皆様に安心してご鑑賞いただけるよう、来館時におけるマスクの着用、体調の確認、
手指消毒、他者との間隔の確保等、感染防止へのご協力をお願いいたします。

○施設内の混雑を緩和させるため、入館制限をする場合があります。

感染拡大防止のため、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

身延町なかとみ現代工芸美術館

〒409-3301 山梨県南巨摩郡身延町西嶋345

TEL : 0556-20-4555 FAX : 0556-20-4557

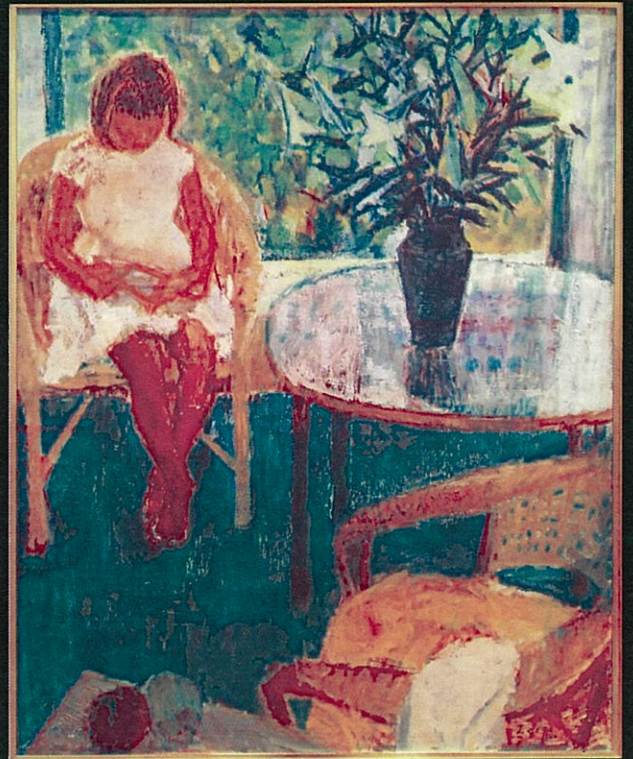
二人の女性作家 鈴木小江と佐野智子

当館には、2人の女性作家の作品が収蔵されています。

1人目は書家の鈴木小江。西嶋和紙の発展・普及に深く携わり、旧中富町の名誉町民になっています。かな文字を書く書家として活躍し、代表作「源氏物語和歌五十四帖」などの作品だけでなく、多くの師範本も手掛けました。

2人目は油彩画の佐野智子。佐野は東京出身ですが、1945年には約1年間、両親の出身地である旧中富町で過ごしました。その後、山梨へと移住し、山梨の女性作家のトップとして精力的に活動。身近な自然や静物をテーマにした油彩画を多く描きました。

2人の女性作家は、出身も、活躍した時代も、ジャンルも、まったく異なります。しかし、縁あって当館に作品が収蔵されました。鈴木小江と佐野智子、それぞれにしか生み出せない世界をお楽しみください。



※本展覧会は、新型コロナウイルス感染症の状況により、会期を変更する場合があります。その際は和紙の里HPや美術館Twitterなどで随時お知らせします。

身延町なかとみ現代工芸美術館

〒409-3301 山梨県南巨摩郡身延町西嶋345

TEL : 0556-20-4555 FAX : 0556-20-4557

アクセス	電車	JR身延線「甲斐岩間駅」下車 徒歩約25分(約2km)
	自動車	中部横断自動車道 六郷I.Cから約5分 県道9号線を静岡方面に向かい「峡南橋東詰」信号を右折 中部横断自動車道 南部I.Cから約30分 国道52号線を甲府方面に向かい「峡南橋西詰」の信号を左折 (無料駐車場あり)
	高速バス	中央高速バス 新宿身延線 新宿駅高速バスターミナルより約3時間 バス停「西嶋」下車 徒歩0分

